

## Hospital 病院クローズアップ

## 国立病院機構

## 熊本医療センター



## 院長PROFILE

高橋 毅 (たかはし たけし)

1985年宮崎医科大学医学部卒業。

2003年熊本大学医学部臨床教授、2004年熊本医療センター救命救急部長、2012年同センター副院長を経て、2017年同センター院長に就任。

日本救急医学会理事、熊本県医師会理事、熊本医学会理事を務める。所属学会：日本救急医学会、日本集中治療医学会、日本臨床救急医学会、日本内科学会、日本糖尿病学会、日本動脈硬化学会、日本蘇生学会、日本循環器学会、日本高気圧環境潜水医学会、日本航空医療学会、日本病院前救急診療学会、日本医療マネジメント学会

## 熊本医療センター DATA

## ■所在地

熊本県熊本市中央区二の丸1-5  
https://kumamoto.hosp.jp

## ■病床数

550床(一般500床、精神50床)

## ■診療科目

総合診療科/内科/腎臓内科/血液内科/腫瘍内科/糖尿病・内分泌内科/呼吸器内科/感染症内科/消化器内科/循環器内科/脳神経内科/外科/頭頸部外科/呼吸器外科/心臓血管外科/脳神経外科/小児外科/整形外科/形成外科/精神科/リウマチ科/小児科/皮膚科/泌尿器科/産婦人科/眼科/耳鼻いんこう科/リハビリテーション科/放射線科/病理診断科/救急科/麻酔科/歯科/歯科口腔外科/放射線治療科

## ■研修の特色

当院は救命救急医療と高度先進医療を担う急性期総合病院であり、豊富な臨床例を研修できます。すべての診療科が協力しながら診療にあたっていため、診療科間の垣根が低く、気がねなく相談できる自由な雰囲気があるのが特徴です。日本有数の救急車搬入実績を持つ救命救急センターではプライマリケアを実習します。外科および救急部スタッフによる外傷セミナーも定期的に開催しています。

24時間365日、断らない救急医療をスローガンに  
地元民から愛され、頼られる病院を目指す

当院は、救急医療とがん診療の2本を大きな柱とした高度総合診療施設で、国際医療協力や長寿医療の基幹病院でもあります。病床数は550床で、うち精神科が50床です。熊本県内では精神科病棟のある総合病院は当院しかないので、精神科の患者さんの救急搬送が集まってきました。

救命救急センターは50床で、ICUが6床あります。DMATも4班あり、NBCにも対応しています。救急指導医が3名在籍していますが、熊本県で3名もいるのは当院だけです。救急医療に関する様々な施設の認定についても全部取得しています。

救命救急センターは熊本県救急医療体制支援病院の指定を受けており、24時間365日体制で「断らない救命救急医療」に取り組んでいます。プライドクターも365日、毎日待機しています。

また、ワークステーションには平日の昼間だけですが、熊本消防局の救急隊が当院に常勤しています。近隣で重篤な患者さんがいる場合には、専門医が救急車に同乗して一緒に行くという対応もしています。

救命救急トレーニングセンターでは、様々な研修を実施しています。たとえば毎年、医師だけでなく5～6名のチームでハワイ大学に1週間研修し、シミュレーション教育における手法を学んだりしています。そういうことを続けてきて、救急学会の指導施設を熊本県で取得することができました。

当院の特徴として、外来患者数をかなり減らしています。再来の患者さんは、地域の先生方に

紹介する形にしたからです。そうすることで、新規の患者さんの受け入れが可能になり、医師のほうは入院患者さんや検査、手術に集中できるようになりました。

特筆すべき機能として、熊本大学連携大学院があります。当院で働きながら専攻医で専門医を取り、医学博士の学位も取得することが可能です。

人材確保に関しては、当院の場合、熊本大学からの派遣があるため、現在、医師の確保に困るということはありません。ただ、私が当院で救急の診療を始めた頃は、熊本大学に救急医療に関する科がなかったため、当院を熊本県における救急医療の大学みたくにできたらという思いがありました。患者さんを診るだけでなく、必要な資格を取得しつつ、研究に取り組み、博士号の取得も目指すというふうに取り組んできました。二十数年かかりましたが、当院で研修した若い先生方がいま戻ってきている状況です。

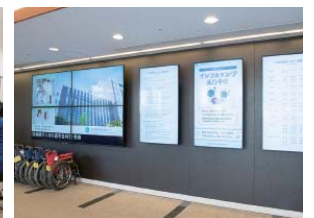
医師向けの研修も数多く実施しています。ICLSはもちろんですが、救急の症例検討会も開催しています。二の丸モーニングセミナーといって若手の先生たちを対象に、各診療科の救急に関する初期対応の仕方、毎週すべての診療科の先生に話してもらっています。研修医のためのセミナーですが、開業医の先生方も聴きに來られるほどの内容です。やる気のある人はほとんど勉強できる環境です。



ヘリポート



救命救急センター(救急外来)



正面玄関総合案内



復興中の熊本城

## 熊本医療センターのある街

## 海、山、川。雄大な自然と歴史的観光地がある見所満載の街

熊本医療センターは、熊本城二の丸の一角に位置する。周囲には熊本県立美術館、市立博物館、県立藤崎台球場などがある。周辺は春には桜が咲き誇り、観光客の目を楽しませてくれる。

熊本のシンボルといえば、海外からの観光客も多い熊本城。2016年に発生した熊本地震の影響で天守閣周辺は立ち入り禁止になっているところもまだ多いが、復興のシンボルにもなっている。

世界遺産に登録された「天草の崎津集落」は、話題のスポットが目白押し。崎津はキリスト教の禁教期に仏教、神道、キリスト教が共存し、漁村特有の信仰形態を育んだ集落。崎津諏訪神社は、豊

漁・海上安全を願って創建された神社。潜伏キリシタンはこの神社の氏子で、密かな信仰を守っていたそうだ。大江教会はキリスト教解禁後、天草で最も早くに造られた教会で、冬はイルミネーションが楽しめる。

中央部から少し離れると、異世界に迷い込んだような「上見熊野座神社」や毎分30トンもの湧き水が出る「山吹水源」、廃墟好きにはたまらない「熊延鉄道跡 八角トンネル」、絶好のロケーションの四番漁港 北側 環境用地」など、SNS映えする隠れ絶景スポットも数多くあるので足を伸ばし、いつもと違う景色を楽しんでみては。

